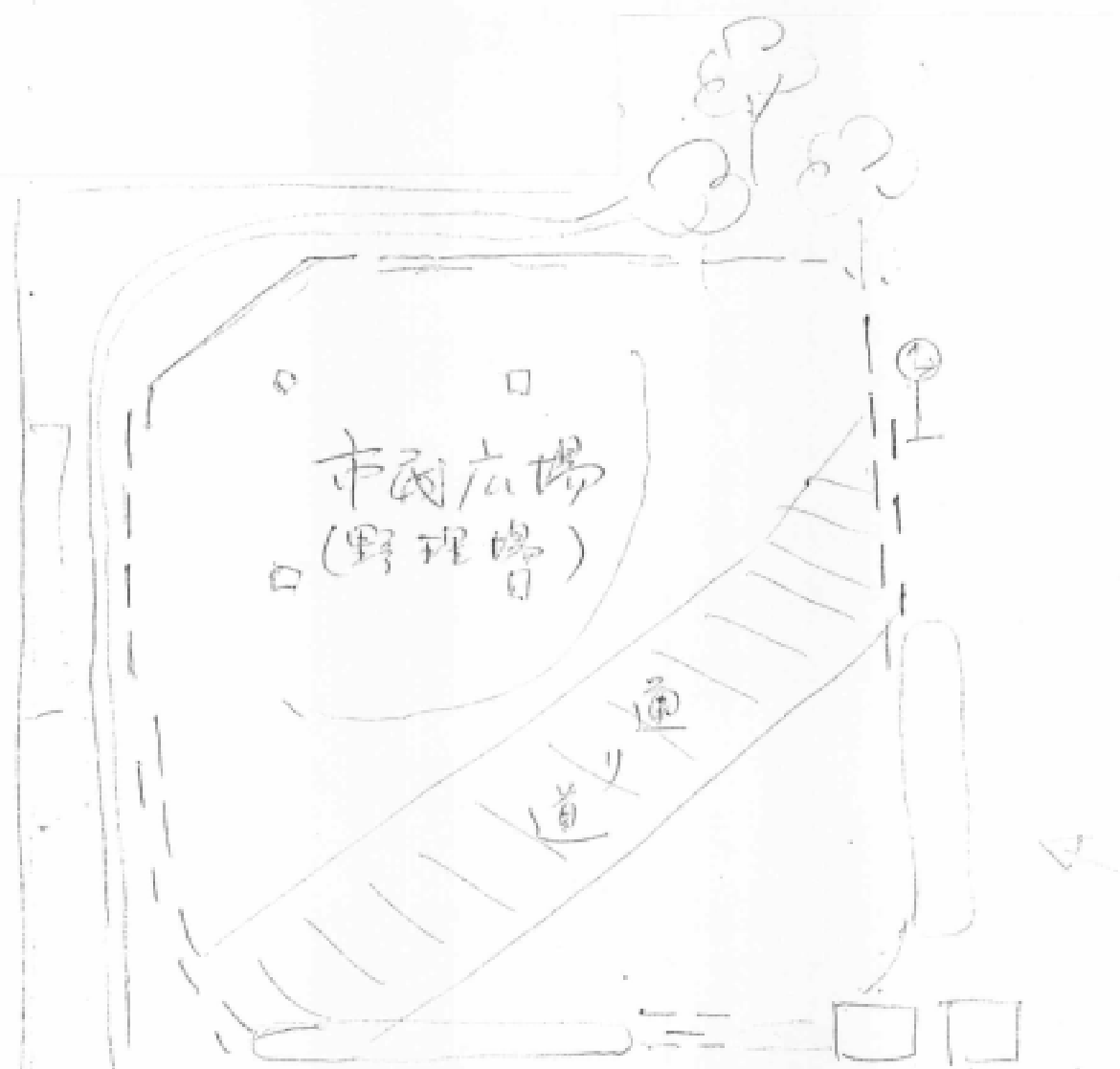


4. 安全で暮らしよいまち（住環境）をつくる

1. 提案のタイトル ●安心して歩ける道づくり

安全で暮らしよいまちをつくる

2. イメージを伝える写真・絵・図など



通り場りので近道をしたい。人情は分かるが
マナーの問題もある

野球場のスクリーンを取り除くようなことが関連した
工事を含められていたのだろうか。

3. 提 案

○ 交通システム(バス路線の改善による利用者の利便性を考える)はすでに中間報告の中で述べられている。実現を希望します。

○ バリヤフリーに就いては今後の議論に期待してありますが、

歩道の状態が所により、ひどい処が目につく。

巾がせまく、電柱、植樹に邪魔されたり。

平坦さでも、敷石の凹凸、傾斜などで歩き難い。整備が進んでいる処はすばらしくなっている。平内化を急いでほしい。

○ 公園のブルーハウスも無くなることを望んでいるが、

市民広場(野球兼多目的運動場)への

雨天時に自転車乗入れ(通過と急ぎ)は

困る。広域避難場所であるため、侵入規制の柵など設置できないのだろうか。

外側にはウォーキングコースを兼ねた舗装通路があるのだから。

道中も広く立派な歩道でも、傾斜はキツク感じる。

以上。

4. 安全で暮らしよいまち（住環境）をつくる

1. 提案のタイトル ●安心して歩ける道づくり

安心して暮らせる環境づくりの提案

2. イメージを伝える写真・絵・図など



公園や生活道路の管理を行う

●提案を実現していくために

○市民にできること

- ・例えば出来上がった場合、公園、生活道路等の管理（ボランティアで行う）
- ・施設の場所の指定
- ・施設の内容の提案（例えば公園、生活道路）

○行政に期待したいこと

- ・工事着工前に川崎区構想づくりメンバーの提案と行政の制作した案と“ツキ合わせ”すること。
- ・工事計画（内容）から出来上がるまで、第三者の助言などをいれる場合は川崎区構想づくりメンバーと、行政、第三者と協議して決定すること。

○短期的（すぐ）にできること

- ・現在ある公園、生活道路の改築
- ・駅の周辺、繁華街などの自転車の放置、青空駐車などは担当者が積極的にやればすぐにもできる。

—こんな張り紙をしたらどうか—

川崎警察署長 [氏名]、交通部長 [氏名]、交通課長 [氏名]、地域担当 [氏名]、
責任者の名前を記入する。川崎警察署長だけでは“だめ”。

3. 提 案

1. 今ある設備は最大限に利用する。公園、埋立地、生活道路など。
 - ・建設に一番金のかかる土地が問題なく使用できる。
2. 川崎区を通過して他の都市に行く道路は拡張しない。
 - ・海を利用して船等で目的地まで行く。
3. 川崎区内の道路の十字路は全部信号をつける。
 - ・特に川崎区のように車優先の街では、歩道や歩道がでこぼこの所が多いので、押車、乳母車、車椅子、老人、子供が横断するのに時間がかかるので危険。
4. 川崎区の道路の全ては速度制限を生活道路並みにする。
 - ・3、4を実行すれば運送効率が悪くなるので、運送関係者は自分達の生活を守るために良い方法を考える。
 - ・タクシー会社も効率が悪くなるので、相乗りタクシーのようなものを考えると思う。
5. 小田のバス通りの一方通行はバスのみ往復する。
 - ・往復場所にすれ違う場所（バスが待機場所）する所を往復にすれば、すれ違う危険がない。
6. 幼児を持つ若い夫婦が安心して育てられる医療機関を充実する。
 - ・各地域に小児科をいれた病院デパートみたいな医療機関を造る。各病院は個人経営とする。
 - ・住、食、職が一緒になっている病院だとなおよい。夜など、幼児が病気になると現在は若夫婦がおろおろして朝まで待つ状態です。
夜、病気になったとき、病院に先生がいれば適当な指示をしてもらえるので大変良いと思います。
何か地域に特長があれば若い夫婦が集まる。川崎区に行けば小児のあの病院が手近にあるというだけで若い夫婦が住みつく。

4. 安全で暮らしよいまち（住環境）をつくる

1. 提案のタイトル ●心地よい調和のとれた街並みをつくる

市民＜区民＞の交流の場にする事を求めて。

2. イメージを伝える写真・絵・図など



写真①

イガリ館、正面入口と表側。



写真②

イガリ館全体と庭部分。

3. 提 案

市民館(川崎では教育文化会館)や分館などをはじめ
市民の交流の場は、在例的に「田角いセム」創りの建築物
になっている。例えば左の写真のような大きな庭もついで
洒落た建築物で市民交流の場にも落ちついた雰囲気
がもたらされてきたといえる。写真の伴り館
は横浜の「港の見える公園」隣に建てられ、旧伴り館
の公舎を現在横浜市が管理し、「貸し館」として市民開放
している。約60名収容のホールにはピアノがあり
小さなコンサートや毎日の演奏会も行っている。現在の
使用は禁止されているが過去にはピアノと他の楽器によっ
てアンサンブルして庭を客席にしたようなコンサートも行な
れたことである。そんなことを一時だけ元々集め
ながら最高の章で迎える。建物を伴り館目にはこぼれなが
ら「田角いセムづくり」ではないかという夢の実現も！

●提案を実現していくために・・・

- 市民にできること・市民がすること

このように施設に望み声に大に抵抗、行政の働きかけ

- 行政に期待したいこと

「金がない」のではなく「使い方」の問題だとも思う。

- 短期的(すぐ)にできること

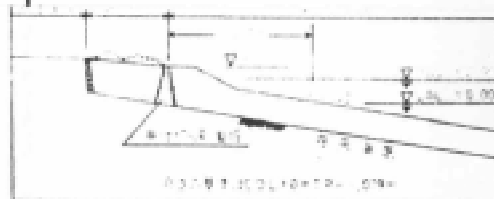
- 長期的に取り組むことが必要なこと

5. 臨海部を変える

1. 提案のタイトル ●臨海部に砂浜、海水浴場、海浜公園をつくる

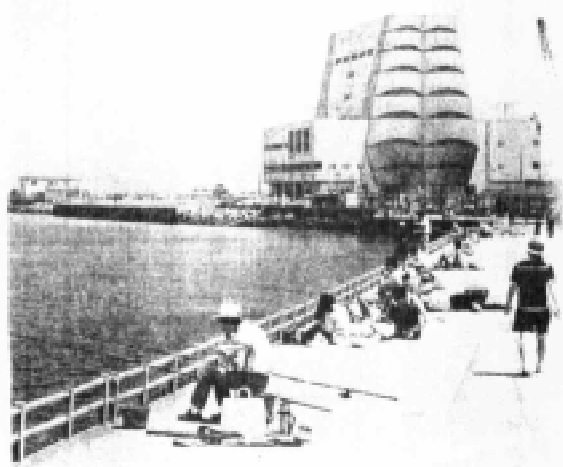
健康的で文化もある海辺

2. イメージを伝える写真・絵・図など

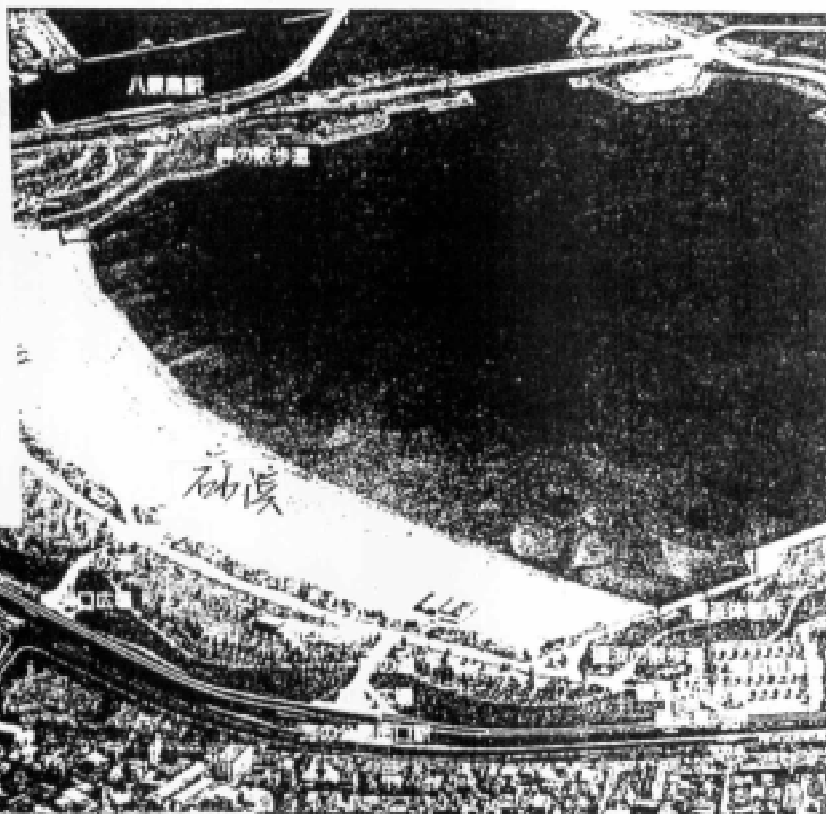


1キロ、干潮時の幅約200メートル、満潮時の幅約60メートルとなります。横浜の原風景ともいえる白砂青松の景観をつくりだすため、緑豊かな樹林や、広々とした芝生広場を中心に、海の生物が生息する砂浜と一体に利用できるように整備しています。

潮干狩り、海水浴、敷居、各種イベントなど
海と海辺を利用する多くの市民



砂浜があると釣り場はもっと楽しくなる。



※図1は初めての人工ビーチ

※水遊びはもちろん、カヌー、ウインドサーフィンもOK

釣り場